

東京2020D&Iアクション

-誰もが生きやすい社会を目指して-

東京2020大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京2020D&Iアクション-誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大といった社会の分断が深まる中、大会に参画する多様な個性がある多くの人が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京2020大会です。

私たち一人一人は、人種、肌の色、性別、性的指向、性自認、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会を目指します。

東京2020大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、私たちのアクションを宣言します。



私たち東京メトロは、
重された社会に貢献することをここに宣言します。

のもと、社員一人ひとりが最大限活躍することができる企業を目指すことで、多様性が尊

- 1 男性女性を問わず、社員一人一人が仕事と家庭（育児）を両立でき、男女がともに貢献できる企業を目指すため、全ての社員を対象にしたキャリアデザインを支援するセミナーを開催して多様な働き方を促すとともに、男性社員の育児休業取得率向上を進めます。
- 2 性的少数者が抱える困難性を正しく理解するため、役員・社員を対象にしたLGBTQ研修を実施し、性的少数者に対する配慮や支援を促すことで、性的指向・性自認に関わらず誰もが自分らしく生き生き活躍することができる企業を目指します。
- 3 障がい者スポーツの振興として、車いすフェンシング安直樹選手を社員に採用し選手活動の応援・支援を行うことなどを通じて、障がいの有無に関係なく誰もが活躍することができる企業を目指します。

2021年8月18日
東京地下鉄株式会社